

2020年度 NU-COIL「国際産官学連携 PBL 科目」

各科目の詳細と申込方法・選考日程について

【すべての科目に共通する概要】

この科目は、演習形式で行われます。キャリア形成に結びつく実践的な COIL 型授業に位置付けられ、愛知県に所在する企業、団体、官公庁からビジネス・行政上の課題を提供してもらい、その課題に対して、海外の学生とオンラインツールを用いて共に理解を深め、解決策等を議論します。課題の提供先企業等に成果を発表し、また解決策等を提案し、フィードバックと評価を受けます。評価は成績に反映されます。この授業を通じて、異なる文化背景を持つ学生と、今まで培った外国語能力を活用しながら協働して課題に取り組み、グローバル人材としての素地を養うと同時に、実社会での課題に触れ、キャリア形成に生かすことが期待されます。南山大学 NU-COIL プログラムについてはウェブサイトにて公開しています (<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/>)。

【すべての科目に共通する到達目標】

1. 問題や課題を理解し、客観的にとらえることができる
2. グループ内で、問題や課題に対する解決策をいくつか提案し、建設的な議論ができる
3. 異なる文化背景をもつ学生がいる中、グループ内で意見をまとめ、最適な解決策を提案することができる

【すべての科目に共通する注意事項】

- 約8週間（全8回の授業）でプロジェクトを達成することが求められます。時差があるため、海外の学生とは、授業の時間外で連絡を取り、話し合いをする必要があるため、自分のスケジュールをみて、プロジェクトに関わる時間が確保できることを確認してください。やむを得ない事情で授業を欠席する場合には事前に教員へ相談すると共に、グループのメンバーとも相談をしてください。
- グループのメンバーは教員が割り振ります。
- オンラインでグループワークをする際は、各自で所有する端末を利用します。学外では各自のインターネット環境が必要です。

【各科目の授業内容】 ※状況により変更が生じる場合があります。

< PBL COIL A >

連携企業：株式会社マキタ、株式会社榎屋、一般社団法人グローバル愛知

連携大学：米国ノースジョージア大学

課題：米国で駐在等の経験がある日本人社員と、日本で勤務している米国からの社員、双方へインタビューをし、日米それぞれの企業における働き方やビジネスコミュニケーションの違いに気づき、理解を深めます。ノースジョージア大学の学生と理解を深めながら、日本社会や文化を客観的に見つめ、コミュニケーションにおける配慮や注意点、日米双方の視点からみた円滑なコミュニケーションを実現するための方法を提案します。

授業日時：火曜日 5 限（17:00 – 18:30）

授業計画（予定）：

- 9/15(火) 第1回 導入
- 9/22(火) 第2回 一般社団法人グローバル愛知からの講話とインタビュー
- 9/29(火) 第3回 グループディスカッション、研究・調査報告①
- 10/7(水) 第4回 株式会社マキタの講話とインタビュー
- 10/13(火) 第5回 南山大学所属留学生へのインタビュー、研究・調査報告②
- 10/21(水) 第6回 株式会社榎屋の講話とインタビュー、クラス内相互評価・分析
- 10/27(火) 第7回 プロジェクト最終報告書の最終確認、発表準備
- 11/3(火) 授業なし
- 11/10(火) 第8回 発表

学外授業：第4回と6回でインタビューのための学外授業を予定しています。日程が変更になる可能性もあるため、決まり次第お知らせします。

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：

参考文献：エリン・メイヤー『異文化理解力-相手と自分の真意がわかる ビジネスパーソン必須の教養』（英治出版 (2015/8/22)）

その他：ノースジョージア大学の学生との交流に際する使用言語は英語です。

<PBL COIL B>

連携組織・団体：在名古屋米国領事館 他

連携大学：米国ノースジョージア大学

課題：女性の社会進出、女性のエンパワメントという視点から、映画を2つ鑑賞し、ノースジョージア大学の学生と日米それぞれの視点から議論をし、その意義を深く理解します。米国領事館首席領事より米国について、またジェンダーの視点から講義を受け、さらに日本の企業にて女性活躍推進の取り組みを進めている社員より講義を聞き、理解を深め議論します。ノースジョージア大学の学生と意見を交換しながら、女性が活躍することに関する記事を書き、クラスプロジェクト用の WordPress に掲載し、学びの成果を社会へ発信します。

授業日時：金曜日 5 限（17:00 – 18:30）

授業計画（予定）：

9/18(金) 第1回 導入、映画1

9/23(水) 第2回 在名古屋米国領事館からの講義と質疑

10/2(金) 第3回 映画2、グループディスカッション、研究・調査報告①

10/9(金) 第4回 グループディスカッション、研究・調査報告②

10/16(金) 第5回 企業より講義と質疑

10/23(金) 第6回 研究・調査報告③、クラス内相互評価・分析

10/30(金) 第7回 プロジェクト最終確認、発表準備

11/6(金) 第8回 発表

学外授業：第2回で、在名古屋米国領事館より講義を受けるための学外授業を予定しています。日程が変更になる可能性もあるため、決まり次第お知らせします。

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：資料配布

その他：ノースジョージア大学の学生との交流に際する使用言語は英語です。

<PBL COIL C>

連携企業：小島プレス工業株式会社

連携大学：香港中文大学

課題：トヨタ系の自動車内外装部品メーカー大手である小島プレス工業株式会社から提供される課題「未来の車と私たちの生活」に対して、香港中文大学・日本研究学科で日本語を専攻する学生とオンラインによるコミュニケーションを通じて、国際的視点に立ち議論し、未来の生活の中での理想的な車の役割や機能をプレゼンテーションで提案します。異なる文化背景を持ち、外国語として日本語を学ぶ人々と、効果的なコミュニケーションを実現しながら、目標に到達するための実践的な授業です。

授業日時：月曜日 5限（17:00－18:30）

授業計画（予定）：

- 9/14(月) 第1回 オリエンテーション、小島プレス工業株式会社からの講義
- 9/21(月) 第2回 国際教育交流論①、グループワーク（議論・調査・報告等）①
- 9/28(月) 第3回 国際教育交流論②、グループワーク（議論・調査・報告等）②
- 10/5(月) 第4回 中間発表（予定）
- 10/12(月) 第5回 国際教育交流論③、グループワーク（議論・調査・報告等）③
- 10/19(月) 第6回 国際教育交流論④、グループワーク（議論・調査・報告等）④
- 10/26(月) 第7回 プレゼンテーション確認（クラス内発表）、最終準備
- 11/2(月) 第8回 最終プレゼンテーション

第2回または3回目の授業で香港中文大学日本研究学科の上田早苗先生からご講義を頂く予定です。

学外授業：最終プレゼンテーション実施のための学外授業を予定しています。詳細が決まり次第お知らせします。

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：資料配布

その他：香港中文大学の学生との交流に際する使用言語は、原則、日本語ですが、必要に応じて英語を用いることもあります。

<PBL COIL D>

連携組織・企業：愛知県庁、ブランドプロデュースを手掛ける企業、中日新聞アメリカ総局

連携大学：米国アリゾナ州立大学

課題：愛知県名古屋市周辺地域の魅力を掘り起こし、外国人観光客を誘致するための方法を提案します。企業のブランドプロデュースやデザインを手掛ける企業の社員より、土地の魅力のブランディングからプレゼンテーションの仕方に関する講義を受け、さらに愛知県の国際課より国際戦略にかかわる講義を受けます。アリゾナ州立大学の学生とローカライゼーションの観点から、どのように愛知の土地の魅力を外国人（アメリカ人）に魅力的に伝えられるかを議論し提案します。

授業日時：木曜日 5限（17:00－18:30）

授業計画（予定）：

- 9/17(木) 第1回 導入
- 9/24(木) 第2回 企業からの講義と質疑
- 10/1(木) 第3回 愛知県国際課からの講義と質疑
- 10/8(木) 第4回 グループディスカッション、研究・調査報告①
- 10/15(木) 第5回 中間報告
- 10/22(木) 第6回 グループディスカッション、研究・調査報告②
- 10/29(木) 第7回 プロジェクトの最終確認、発表準備、クラス内相互評価・分析
- 11/5(木) 第8回 発表

学外授業：第2回で企業・団体から講義を受けるため、第8回で発表を行うための学外授業を予定しています。詳細が決まり次第お知らせします。

評価方法：

- ・提出物 30%
- ・最終レポート 30%
- ・授業内外での取り組みへの積極性 10%
- ・最終プロジェクト 30%

テキスト／参考文献：

資料配布

その他：アリゾナ州立大学の学生との交流に際する使用言語は英語と日本語の両言語です。

履修申込について

【申込方法】

南山大学の学生：PORTA のアンケートより申し込みをしてください。

<https://regist.nanzan-u.ac.jp/regform/regist/intl-strategy/20200710>

他大学の学生：ウェブサイトより書式をダウンロードし、記入した上で指定の場所へオンラインにて提出してください。

●書式ダウンロード先：

<https://office.nanzan-u.ac.jp/nu-coil/news/sangaku/019290.html>

●オンライン提出場所：

https://fx.nanzan-u.ac.jp/public/u91YwA5M2EdAHr0BB19yMf2dPLRK5qhN_1s8ozudg5IH

【申請時の注意点】

- ・PBL COIL A～D まで複数科目の履修申し込みが可能です。
※履修応募申込書の「履修希望科目欄」に記載したコース（A,B,C,D）は、選考に通過した場合すべて登録対象となります（例：A,B,C,D と記入した場合、選考により最大で A,B,C,D の4科目が登録となります）。
- ・すでに単位取得済みの科目については、再登録はできません。
- ・対象学年：2～4年 ※1年生の履修はできません。

【選考方法】

書類選考

【選考基準】

留学経験、COIL 型授業の受講履歴、語学力、志望動機などを総合的に勘案して選考します。

【選考スケジュール】

申込期間：2020年6月12日（金）から2020年7月10日（金）午後3時

合否発表：2020年8月3日（月）

南山大学の学生及び他大学の学生ともに、南山大学国際センターNU-COIL オフィスよりメールにて直接合否の連絡をします。

履修登録：選考通過者の方の履修登録は国際センター事務室が行います。自分でする必要はありません。履修登録期間中に、きちんと登録されているかの確認をし、もし登録されていないければ NU-COIL オフィス担当までお知らせください。